

京都大学大学院経済学研究科

再生可能エネルギー 経済学講座

2017年度
第1回シンポジウム

自由化・再エネ
普及の鍵を握る
電力取引市場

講演プログラム

●基調講演

10:00 諸富 徹 (京都大学大学院経済学研究科
地球環境学術教授)
パリ協定実行に向けて日本がなすべきこと

●テーマ講演1：電力市場取引の役割

10:50 山家 公雄 (京大共同講座特任教授)
市場取引の実際と効果：
欧州の取引所を主に

11:25 内藤 克彦 (京大共同講座特任教授)
欧米の電力自由化の基礎をなす
グリッド政策

12:00 昼食

●ゲスト講演：日本の市場取引の現状と期待

13:00 國松 亮一 ((一社)日本卸電力取引所)
役割が広がる日本電力卸取引市場

13:40 穴井 徳成 (東京電力ホールディングス株)
再生可能エネルギー導入拡大に向けた
システムの現状と今後

14:20 休憩

●特別講演

14:40 高科 淳 (資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部長)
再生可能エネルギー政策の現状と課題

15:15 加藤 修一 (京大共同講座特任教授)
北欧・ノルウェーの“グリーン・バッテリー”
等を巡る議論と今後の展望

●テーマ講演2： 市場革新を背景に展開が進む新ビジネス

15:40 中山 琢夫 (京大共同講座特定助教)
市場取引で活躍する欧州VPP事業者

16:05 安田 陽 (京大共同講座特任教授)
再エネ普及時代の需給調整を担う
需給調整責任会社 (BRP)

16:40 休憩

16:50 質疑応答

17:30 閉会

入場
無料

講座ホームページよりお申込下さい。
www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/

11月2日(木) 10:00~17:30
一橋講堂・中会議室

主催：京都大学大学院経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座
後援：経済産業省 資源エネルギー庁

シンポジウムの主旨

温室効果ガス削減、エネルギー自給率向上、技術革新と新たな産業育成、地域資源活用による地方想像等様々な効果をもつ再生可能エネルギーに対する期待が、高まっている。世界中で推進策が取られており、ここ数年間のコスト低下と普及は予想を大きく上回る。日本でも、3.11大震災を機に本格的に再エネ推進政策が取られてきており、2030年の電力に占める割合は22~24%との見通しが示された。その後、COP21でパリ協定が成立し、再エネ普及に拍車がかかることが予想される。

2016年度第1回のシンポジウムは昨年11月に東京で「アメリカの電力改革」をテーマに、第2回は2月に京都で「欧州の電力システム改革」をテーマに開催し、好評を博したが、今回は「電力市場」を中心に、電力自由化や再生可能エネルギーとの関わりについて解説する。多くの方に参加いただき、情報共有や議論の機会になれば幸いである。

講師紹介



諸富 徹 (もろとみ とおる)

京都大学大学院経済学研究科/地球環境学学術教授。1998年同研究科博士課程修了。2010年から現職。内閣府経済社会総合研究所客員主任研究官、ミシガン大学客員研究員を歴任。『電力システム改革と再生可能エネルギー』日本評論社など著者多数。



山家 公雄 (やまか きみお)

京都大学特任教授。エネルギー戦略研究所所長、山形県総合エネルギー顧問、豊田合成(株)取締役を務める。東京大学経済学部卒業、日本政策投資銀行エネルギー部次長、調査部審議役等を経て現職。著書に『迷走するスマートグリッド』『再生可能エネルギーの真実』『ドイツエネルギー変革の真実』等多数。



内藤 克彦 (ないとう かつひこ)

京都大学特任教授。東京大学工学部卒業、同工学研究科で修士号取得。環境省地球環境局地球温暖化対策課調整官、国交省自動車交通局リコール対策室長、環境省総合環境政策局環境影響審査室長、同省水・大気環境局自動車環境対策課長、東京都港区副区長等を歴任し現職。論文に「EUの温暖化対策戦略における再生可能エネルギーの位置づけ」等多数。



國松 亮一 (くにまつりょういち)

一般社団法人日本卸電力取引所 企画業務部長。1993年大阪大学基礎工学部機械工学科卒業。同年4月アンダーセンコンサルティング(アクセンチュア)に入社。主にエネルギー企業のコンサルティングに従事。2004年8月設立の支援を行っていた電力取引所に入社。



穴井 徳成 (あない とくなり)

東京電力ホールディングス株式会社 経営企画ユニット 系統広域連系推進室長。主に、電力システムの計画、需給計画、電力市場分析などの業務に従事。

高科 淳 (たかしな じゅん)

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長。平成元年通商産業省入省、資源エネルギー庁公益事業部計画課に配属。在ジュネーブ国際機関日本政府代表部参事官、通商政策局欧州課長、産業技術環境局産業技術政策課長などを歴任し、平成29年7月より現職の資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部長に就任。



加藤 修一 (かとう しゅういち)

京都大学特任教授。北大地球環境科学研究科修了、学術博士。小樽商科大学教授を経て参議院議員3期18年、環境副大臣を歴任。「バイオマス活用推進基本法」、「寄稿変動対策推進基本法」等の議員立法活動。自然エネルギー促進議員連盟を有志と創設・事務局長、「自然エネルギー発電促進法」の立法化等に取り組む。



中山 琢夫 (なかやま たくお)

京都大学大学院経済学研究科特定助教。博士(政策科学)(同志社大学)。JST-RISTEXプロジェクト研究員、京都大学大学院経済学研究科研究員等を経て現職。「分散型再生可能エネルギーによる地域付加価値創造分析」他論文多数。



安田 陽 (やすだ よう)

京都大学特任教授。1989年横浜国立大学大学院博士課程修了。博士(工学)。関西大学システム理工学部准教授を経て2016年9月より現職。著作に『日本の知らない風力発電の実力』『世界の再生可能エネルギーと電力システム(風力発電編)』、翻訳書(共訳)に『洋上風力発電』『風力発電導入のための電力系統工学』など。



会場案内

〒101-8439
東京都千代田区一ツ橋
2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、
都営三田線、都営新宿線
神保町駅 (A8・A9出口)
徒歩 4 分
東京メトロ東西線 竹橋駅
(1b出口) 徒歩 4 分

